

わたげ探偵!! こんなの調べてみました!

～ぐるっと多摩探訪 その4～ ◎不定期掲載

多摩・島しょ地域*には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ! 今回は
多摩地域の西から東まで歩いたら、どのくらいかかるの? どんなスポットがあるの?
 という疑問について、わたげのボクが調査をしていくよ!

- 🔍 多摩地域で最西端の奥多摩駅から最東端の三鷹台駅まで歩くよ
- 🔍 わたげの気まぐれで、寄り道をするところがあるよ
- 🔍 今月号では、立川駅から西国分寺駅まで歩いたんだ



④ JR立川駅北側の新しい街並み
 新しい街並みがオープンしたと聞いて早耳のわたげも少し寄り道して見てきたよ。敷地内には癒しの水辺やカフェもあるのでのんびりできそう。

④ 光町の新幹線 (国分寺市ひかりプラザ内)
 先月号に続いて新幹線をまたもや発見! 新幹線ひかり号は町の名前にもなったんだって。間近でみる新幹線は迫力満点だったよ。

④ 旧国立駅舎
 永らく保存されていた赤い三角屋根の旧国立駅舎が帰ってきたと聞いて早速見てきたよ。この街のシンボルが戻ってきて街ももうれしそう。

立川

国立

西国分寺

9:30 START

11:30

13:30 GOAL



④ カフェのカレー
 ぶらぶら街歩きをしているとあちこちのカフェからカレーの良い香りのスパイスな香りに誘われてわたげもカフェカレーを食べたよ。うまい!



④ たまらん坂
 面白い名前の坂を発見! ロックミュージシャン忌野清志郎さんの曲でも有名な命日には多くのファンが集い故人を偲ぶんだって。



④ 蒸気機関車の重輪 (武蔵国分寺公園)
 西国分寺駅に向かう途中、旧国鉄中央鉄道学園跡地で大きな重輪を見つけたよ。国分寺市は鉄道と関係の深い街なんだね。

* 多摩地域: 東京都のうち、23区と島しょ地域を除く全域のこと。
 島しょ地域: 大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・父島・母島のこと。

- ・立川駅から西国分寺駅まで歩くと、寄り道やランチ休憩も入れて4時間くらいかかったよ。
- ・距離は約6.5km、歩数にして約15,000歩、消費カロリーは約500kcalだったよ。



多摩交流センターだより



特定非営利活動法人 **東京雑学大学**

2020年10月講義案内

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

(受講料は会員無料・会員外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
10月1日(木) 14:00から	武蔵野の屋敷林	椎名 豊勝 氏 (一社)日本樹木医会 前会長	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
10月8日(木) 14:00から	人工知能で世の中はどこまで変わるか	大江 修造 氏 (元東京理科大学教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
10月15日(木) 14:00から	地球気候 環境変動史	渡辺 興亜 氏 (元国立極地研究所長・ 国立総合研究大学院大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
10月22日(木) 14:00から	こんなに楽しい世界の歴史探案 一人類の宝庫である“世界史の鉱脈”の掘り方	綿引 弘 氏 (元桐朋中学高等学校教諭)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

変更: 本紙8月号 (No.083) 5ページで案内した「東京雑学大学」の教場を変更します。
 9月10日(木) 教場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (変更前) → コール田無 (変更後)
 (JR 三鷹駅北口 徒歩7分) (西武新宿線 田無駅北口 徒歩7分)

広域的市民ネットワーク活動助成対象事業中止のお知らせ

本紙5月号(No.080)9ページで紹介した広域的市民ネットワーク活動助成対象事業「第4回多摩地区28市町対抗囲碁団体戦」(9月13日(日)予定)は**中止**となりました。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

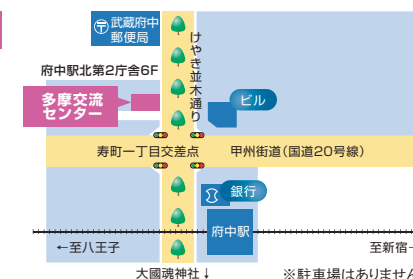
(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 近年、天候は異常続きです。今年の7月は台風の発生がゼロでした。更に、東京の降水日数は30日を数え、雨を観測しなかったのは1日のみで、どちらも観測史上初となりました。関東の梅雨明けは8月にずれ込みましたが、一転して8月は猛暑となり、体調維持が難しい日々となりました。まだまだ残暑が続いていますので、コロナウイルス感染症がなかなか収束しない中、熱中症にならないよう体調管理には十分気をつけましょう。
- 7月に九州・中部・東北地方を襲った「令和2年7月豪雨」は、コロナ禍での避難所運営や避難のあり方が大きな課題となりました。被害を受け、復興に取り組んでおられる被災者の皆様に、この場をお借りして心よりお見舞い申し上げます。多摩・島しょ地域でも他人事ではありません。昨年10月の台風水害で被災した地域が出たことは記憶に新しいと思いますが、何よりもこれからの災害に対する万全の備えが必要で。昨年とは新型コロナウイルス感染症への対策も考慮しなければならぬ点で状況が異なります。避難先を分散する

- 等、工夫を凝らし、事前にできる備えを整え、早め早めに避難するなど適切に行動する必要があります。
- さて、2ページのお知らせのとおり、10月20日(火)には、府中市市民活動センタープラッツ パルトホールで調査研究結果発表シンポジウムを開催する予定です。今回は「自治体職員も副業・兼業の時代! ~役所はどう変わる? 地域はどう変わる? ~」という公務員の副業・兼業に関する内容となっています。
- 少子高齢化と人口減少社会において、公務員も地域経済活動等の担い手として、様々な形で地域の活性化に寄与する場面が多くなると想定されます。また、自治体側も職員が二足の草鞋を履くことによる人材育成や職員採用募集の際の有益性、更に、離職防止、地域活動により本業に良い影響があることなどの効果が考えられています。地域の担い手にお困りの団体・住民の皆様にも、また、自治体にとっても新たな参考事例や取組へのヒントをたくさんご紹介できるものと考えております。是非、シンポジウムに多数お運びいただけますよう、皆様のご参加をお待ちしております。(M.N)